

第3回検討会 検討いただきたい事項

これまでの（第1回・第2回検討会）議論やご意見を踏まえ、本日は以下について議論をいただきたい。

1 人流データの計測と活用について

(1) データの計測について（確認事項）

- ・ 取得するデータは「人数、時間帯、進行方向、男女、年代」としたい。
- ・ なお、プロポーザルでは機器の種類は指定せずに提案を求めるとしたい。
- ・ 要望のあった回遊（人の流れ）については、コスト面等から今回の計測システム導入では見送ることとしたい。
- ・ ただし、引き続き検討を行い、将来的に、回遊が計測できるような拡張性を持たせることで対応したい。
- ・ 現在の事務局案では、「AI カメラを高知市商店街（周辺部を含む）15箇所に設置する」としている。※最大値で設定
- ・ 周辺部の商店街への機器設置については、今後、事務局が個別に商店街組合に説明を行い、意向を尊重することとしたい（AIカメラ以外の機器の設置も検討）

(2) データの活用について（議論いただきたい点）

- ・ データを計測することは「手段」であり、蓄積したデータを分析しどのように活用するのかという視点が大切であるとの意見を多くいただいた。
（データをそのまま各事業者に渡しても分析・活用することは困難ではないかとの意見等）
- ・ 事務局としては、取得したデータを活用するという観点から、（計測機器の導入とセットで）予測システムの開発・導入が必要ではないかと考えているところ。

- ・ このことについて、各委員に意見を伺ったところ
 - ・ 導入時期について、検討の必要がある
 - ・ 計測機器導入とセットで発注した方がよい
 - ・ 機器導入後、データ収集を開始して一定期間が経過した段階での発注がよい
 - ・ データを溜めるだけでは意味がないので、予測に向けたデータ分析に早く着手した方がよい

といった意見をいただいた。

- ・ 事務局でそれぞれのメリット・デメリットの比較表を作成（⇒資料3）

上記を踏まえて、計測・蓄積したデータを活用するために、来年度どのような取組を行うべきか（＝必要な予算の計上）について、議論をいただき、本日の会議で検討会としての結論（方向性）を示していただきたい。

2 機運の醸成について（意見をいただきたい点）

県は、R5事業として以下を計画中。効果的な手法やその他の取り組みについてご意見いただきたい。

- ・ R5年度は、勉強会・先進地視察に加えて、モデル事例を創出する事業を計画
- ・ 具体的には、
 - ① 商店街全組合員（約650事業者）に意向調査を実施
 - ② 調査に基づき意欲を示した30事業者を選定。立地や業種等を踏まえ、県が委託するコンサルが事業者ごとに活用提案書を作成し、カウンセリングを実施
 - ③ 最終的に10事業者を選定。モデル事例として個別伴走支援を実施

〈 観光など他分野への応用展開について 〉

- ・ 中心部（商店街）での活用方法や観光など他分野への応用について検討を深めるため、令和5年度末にアイデアソンの実施を計画